

2007年度財団法人淡海文化振興財団事業計画

(下線部分：新規事業)

基本方針

県内のNPO活動は社会のあらゆる分野に浸透してきている。また、活動の広がりとともに専門性を持った事業への取り組みが進み、社会公益の担い手としてNPOの存在が認識されるにつれ、事業の企画力や団体経営のマネジメント能力が求められる段階に達している。

また、近年各地で市町域を活動範囲とした市民活動支援センターが設立されてきた状況を踏まえ、当センターは県域をカバーする支援センターとして基本的なメニューは備えつつも、市町域の支援センターの機能充実に併せて、これらセンターとの役割分担と連携を図り、より専門性のある支援センターを目指す。

2007年度は、設立10周年の節目に淡海ネットワークセンターの評価を行い、全県事業として実施する価値のある事業や時代に求められる事業の組み立てを行うことを基本に、自立に向けた人材育成と団体サポートに重点を置くとともに10周年記念事業を実施する。

人材育成については、おうみ未来塾の再編強化により、より成果の見える人材育成をめざす。また、団体サポートについては、「おうみNPO活動基金」「NPOサポート事業」による支援や、市民事業創出を支援するなど、NPOの組織基盤の強化に向けた支援を強化する。

事業計画

1 情報提供事業

(1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

タイムリーな話題を取り扱う特集と活動団体の紹介を軸として、センター事業などの情報を提供する。特集記事の内容充実のため、12頁から16頁ページ構成にするとともに、発行回数は年6回から4回へ変更する。

A4判16頁 年4回発行 部数 1万部/回

配布先 活動団体、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関、金融機関など

(2) 活動団体データベースの整備

活動団体データベースの整備を行うことにより、センターでの情報提供に活用する。

- (3) 淡海NPOデータファイルの発行
活動団体を広く紹介し、ネットワークの形成を促すため、活動団体データベースをもとに、淡海NPOデータファイルを作成・発行する。
- (4) ブックレットの発行
センター主催の講座などの記録をブックレットにまとめ発行する。
2種発行 部数 700部
- (5) 情報・資料の収集と閲覧・貸出
地域づくり情報、人情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集し、提供する。
- (6) インターネットの活用
インターネットを活用してセンター情報などをホームページを通じて発信する。
- (7) メールマガジン「おうみネットe~マガジン」の配信
無料メーリングリストを利用して、活動団体等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供のサービスを行う。

2 組織運営サポート事業（活動活性化事業）

- (1) 相談業務
市民活動に関するさまざまな相談にきめこまやかに対応する。電話・FAX・メールによる相談も随時受け付ける。また、初歩的な相談に対応するため、定例の相談日を設ける。
- (2) 企業 - NPO連携促進事業
淡海フィランソロピーネット等と協力し、企業と市民が出会い、研究・意見交換する場として、企業の社会貢献やCSR、NPOと企業の協働をテーマにフォーラムを開催するなど、企業とNPOの互いの価値に対して認識を高める取組を進める。
- (3) NPOサポート事業
市民活動団体の運営・事業実施に関して、職員が直接団体を訪問してサポートする。また、税理士等による相談会を開催するほか、適切な専門家を直接団体に派遣し、自立のための集中的なサポートを行う。
- (4) おうみ市民事業創出支援事業
市民事業創出に向けた関係諸機関への橋渡しシステムを開発する。
・市民事業可能性調査
・市場調査助成
・市民事業定期学習会開催
- (5) NPO支援センター連携事業
淡海ネットワークセンターと地域支援センターのスタッフ同士が互いに研修し、またこれら支援センター間の情報交換を行うことによって相互の機能強化を進める。

メールリングリストによる情報交換

連携会議 6回(2か月に1度)

(6) 情報ボックスの運営

団体間で自由に情報を交換できるボックスを運営する。

(7) ワーキングコーナーの運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機等を備えたワーキングコーナーを運営する。

3 協働ネットワーキング・政策形成促進事業(交流事業)

(1) 10周年記念事業

設立10周年を記念し、これからの市民活動・NPOのあり方を考える機会とするため、記念事業を実施する。

・10周年記念フォーラムの開催

・県内まちづくり・NPO視察合宿ツアー(1泊2日)

・10周年記念報告書の作成

(2) 活動団体ネットワーキング促進事業

特定テーマや広域における活動団体同士のネットワーク構築を促進するため、団体の自主的な取組を支援する。

(3) 交流サロンの運営

ピアザ淡海内の交流サロンを運営するとともに、掲示板、情報ラックを活用し、人と情報の交流を図る。

4 人材育成事業

(1) おうみ未来塾の開催運営

地域づくりや環境保全活動などの新しい地域課題に取り組む魅力ある新しいリーダーを地域プロデューサーと位置づけ、こうした地域プロデューサーが育つ場としての「おうみ未来塾」を開催運営する。本年度は、新たに第9期生を受け入れ、第8期生とあわせた一体的な塾の運営を行う。

塾生 第8期生 30名 第9期生 25名程度

研修期間 2年間(基礎実践コース1年、創造実践コース2年)

(2) 各種講座開催

NPOのメンバーが自らモチベーションと当事者意識を高め、高いレベルの主体性をもって活動や課題に取り組めるよう、活動活性化に資する知識・ノウハウを提供する講座を開催する。

数回開催 受講者 各30~50名程度/回

5 おうみNPO活動基金の運営

NPOの活動基盤を資金面から支援するため、組織の基盤強化につながるものを対象とする「自主事業助成」、他の主体との協働により社会的課題を解決する取り組みを対象とする「協働事業助成」、滋賀県内の地域において、市民活動を支える機能を充実させる取り組みを対象とする「NPO活動支援事業助成」の各区分により助成を行う。

また、(財)民間都市開発推進機構の「住民参加型まちづくりファンド」の拠出金を受け入れ、新たにハードを対象にした「市民のまち普請(活動環境整備)事業助成」を実施する。

< 自主事業助成 > 助成額 500千円～3,000千円

総額 10,000千円/年

< 協働事業助成 > 助成額 (調査検討) 定額100千円

(実施) 500千円～2,000千円

総額 5,000千円/年

< NPO活動支援事業助成 >

助成額 500千円～2,000千円

総額 2,500千円/年

< 市民のまち普請(活動環境整備)事業助成(仮称) >

助成額 未定

総額 10,000千円/年